

あしたの空へ

令和4年 7月号
 北区立滝野川第三小学校長 関口 泰正
 巡回拠点たきさん 巡回指導教員

夏休み前まで残り 1 か月を切り、個別指導の中で「夏休みは〇〇に行くんだ！」「おばあちゃんに会いに行く！」「早く夏休みにならないかな…」という“楽しみ”な声も聞かれるようになってきました。その一方で、気圧の変化や急な気温の上昇で、体調不良や疲れも出てくる時期でもあります。“楽しいな夏休み”の前に体調を崩さないよう、体調の管理にはくれぐれもお気を付けください。

さて、子どもたちの学校生活を観察していると、「この子は“不器用さん”かな？」と感じる場面が度々見られます。運動をしているとき、ノートに文字を書いているとき、掃除をしているときなど、子どもの“不器用さ”はそれぞれです。“不器用”な子を見ると「頑張って！」「こうやればできるよ。」と励ましたり、ついつい「なんでちゃんとやらないの！」と言ってしまうことがあるかもしれません。

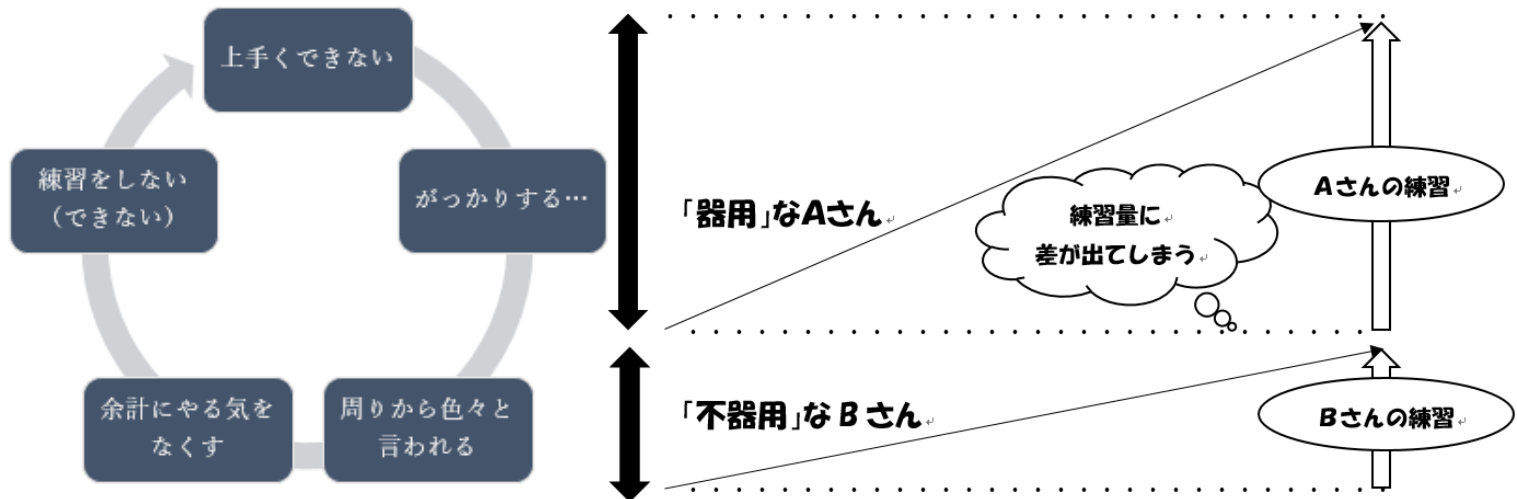
“不器用さん”の手助けをするときには、“不器用であることを理解して支援する”ことが大切になります。「この子、“不器用”だな…」と思ったときにはこんな思いをめぐらしてみましょ。う「ふざけているわけではない」「よく見る・よく考えることでできるくらいなら困ってない」「一生懸命取り組んでいる」「このままでいい」と思っているわけではない」など、「やりたい」のに“できない”の視点をもつことが大切です。裏面に“不器用さん”と関わるときのポイントや、ほんの少しでも活動に取り組みやすくするための工夫“ウォーミングアップ”の内容を載せました。お子さんと関わる際に参考にしてみてください。

<個別面談について>

7月19日(火)以降に個別面談を実施します。7月1日(金)までに面談希望日時を配布した「面談のお知らせ」にご記入の上、ご提出ください。日程調整後、面談日時をお知らせします。

 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 巡回カレンダー 7月 </div> 				1日(金)	
				滝二小・滝三小 もみじ小・谷端小	
4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	
滝三小 もみじ小・谷端小	滝二小 もみじ小・谷端小	滝二小・滝三小 もみじ小	滝二小・滝三小 もみじ小・谷端小	滝二小・滝三小 もみじ小・谷端小	
11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)
滝三小 もみじ小・谷端小	滝二小 もみじ小・谷端小	滝二小・滝三小 もみじ小	滝二小・滝三小 もみじ小・谷端小	滝二小・滝三小 もみじ小・谷端小	滝三小 (面談可)
18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	
海の日	授業観察・面談	授業観察・面談	面談 (夏季休業始)	面談	 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 夏季休業前 の 指導終了 </div>
25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	
面談	面談	面談	面談	面談	

< “不器用さん” がハマってしまう 負のスパイラル… >



< “不器用” なことを支援する とは？ >

まずは“子どもにとって”必要なこと（力をつける、達成感など）を見つけるのが重要になります。その上で、子どもの何を支援するのか明確にしていき手助けをしていきます。

例えば… “不器用な運動をトレーニングする？” “自力では完成しない何かを手伝う？”
 “子どもの自信のなさをサポートする？” “子どもの挑戦しようとする心を育む？”

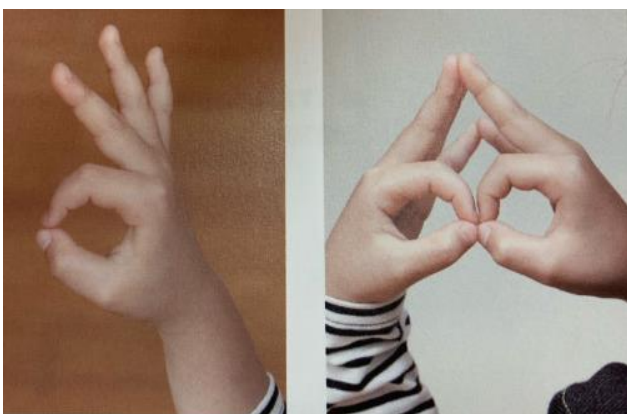
< 支援の基本的な方向性 >

支援は、“できないことを手伝うこと”ではありません。「上手になりたい!」、「自分でやりたい!」という気持ちが育めるようを支援することです。まずは、“いかにやらせるか”ではなく“いかに心地よくやってもらえるか”を意識して支援をしてあげてください。

< そうは言っても上手になってもらうためのひと工夫 >

体育の前に準備体操をするように、簡単な運動の前でも準備体操をすることで、感覚が活性化し、活動に取り組みやすくなることがあります。お家でもできる簡単な“ウォーミングアップ”を紹介します。

オーリング（指先の操作性）



親指と人差し指で、O字のリングをつくります。楕円ではなく、正円になるように、親指を少し曲げるのがポイントです。指に力を入れて力強くくっつけるよう意識させるとより効果的です。

クレヨンを使った手指の運動



大きな紙を用意し、大きな丸を描きます。その中をなぐり描きさせることで、手首に力を入れる感覚や、手の操作性を高めていきます。力を入れなくては描けない”クレヨン”がポイントです。

体を大きく動かす運動の前には、大きな声を出し切る、息を出し切る、全力疾走をする、など“一度意図的に力を出し切る”ことが“ウォーミングアップ”に繋がります。器用に丁度良い力をコントロールするためには、まずは“全力”を出せるようになってからです！